ファッションから「予防医学」へ。衛生面の観点から「新しい脱毛」の歴史が始まる。

エステでも美容外科でもない、「美容内科」というこれまでになかった新しいジャンルを確立し、特にアンチエイジングと予防医学などを研究し続けている今業界でも注目の「ももち浜クリニック」吉田先生。そして「恋文ちゃんの子供脱毛」で全国でもその名が知られるようになった『ハイパースキンカレン』の開発者、鉄穴社長との対談が実現。吉田先生が『ハイパースキンカレン』をクリニックに導入したきっかけや、医師の立場から見た「脱毛」に対する必要性などを語っていただきました。

株式会社 カンナ
エステサロンKAREN
代表取締役 社長
鉄穴（かんな） 英明

対談

ももち浜クリニック
理事長 吉田 信一（よしだ のぶかず）先生
内科医師、医学博士。全国に6つのクリニックを展開。芸能人やアスリートからの信頼も厚い。

――お2人の最初の出逢いは

鉄穴社長　一年前くらいから、体がいつも疲れている感じがしていて、そんな時に吉田先生のクリニックでされている「血液クレンジング」のことを知り合いから聞きまして、実は最初は患者として通っていたんです。

吉田先生　患者様として来院していただいていた鉄穴社長が、有名な脱毛サロンの社長だということをクリニックのスタッフに聞きまして、診察の際に脱毛についての質問をさせて頂いたのがきっかけでした。

――吉田先生が脱毛に興味を持った理由とは

吉田先生　私は脱毛には全く興味がなかったのですが、小学校1年生になった娘が「パパ見て～、牛乳飲んだら白いお髭が生えた」と冗談で言ったことがありました。娘は悩んでいたわけではありませんでしたが、スネに毛が生えてきたり、鼻の下にうっすらと「うぶ毛」が生えてきていたのです。今は悩みとまではなっていないのですが、いつか悩みに変わるのではないかと思い、であれば今のうちに脱毛をしておくのも良いかなと思いまして「子供脱毛」で有名な鉄穴社長にご相談させていただき、脱毛のことをもっと知ろうと私自身、思い始めました。

従来のものより照射面積が大きくなり、処理時間は今までの半分!両ワキなら1分半で照射終了なので忙しい方でも安心のハイパースキンカレン脱毛機。

鉄穴社長　吉田先生からご相談をいただいた時、私の娘「恋文」（れもん）のことを思い出しました。恋文も、小学生低学年の時に同級生の男子にプールでムダ毛のことでからかわれて、それ以来、大好きなプールに行かなくなりまして。ある時「パパ、私の腕に生えている草を取って」と娘が私に言いました。私も子供には脱毛は早いと最初は思っていたのですが、真剣に悩む我が子の姿を見て「子供でも痛くない脱毛」を作ろうと決心しました。これが「ハイパースキンカレン」の開発に取り組んだ最大の理由です。私も親として吉田先生からいただいたご相談は他人事には思えませんでした。それから実際に、吉田先生の娘さんに脱毛をさせていただきました。

吉田先生　初めての脱毛に娘も「何をされるんだろう?」と不安ぎみでしたが、痛みも全くなく、さらに脱毛後はお肌もツルツルになって大満足でした。そして「今度はいつしてくれるの?」と娘から言ってくるくらいでした（笑）。子供脱毛と言われるだけあって、鉄穴社長が開発された脱毛マシンは、やはり「痛くない夢の脱毛機」という噂は本当だったのですね。

ハイパースキンカレン脱毛を試された吉田先生の左腕。一回だけでもこんなにキレイに。右腕と比べるとその効果がはっきりとわかる。※効果に個人差あり

――鉄穴社長が開発した脱毛機「ハイパースキンカレン」とは

鉄穴社長　まず最初に、ハイパースキン法は厳密に言うと「脱毛法」ではありません。従来の一般的な脱毛法と違って「今生えている毛に対して一切何も行わない」という方式です。それは私が5年間にわたり毛周期と発毛についてのメカニズムを研究した結果、たどり着いた結論です。「ハイパースキン法」は、毛穴から毛が抜けた後、もしくは生える前である「発毛期（休止期）」状態の毛穴だけに効果を発揮します。つまり今生えている毛（放っておけば自然に抜けていく毛）を脱毛機で抜いていくというものではなく、「抑毛」「減毛」という視点からムダ毛にアプローチしていくという、原理自体がまったく新しい脱毛機なんです。

ハイパースキンカレン脱毛でほとんど毛が生えてこない鉄穴社長の左腕。もう何年も脱毛していないのにこの持続力はすごい。※効果に個人差あり

吉田先生　なるほど。これまでの脱毛に対する常識が覆された感じですね。一般的な脱毛のイメージだと、高熱で毛乳頭を破壊し毛の再生を鈍化させるというものだと思います。しかし、高温のエネルギーや針などを使う脱毛法だと、「痛み」が伴いやすく、出血、火傷、色素沈着など様々なトラブルに繋がる恐れがあり大変危険ですからね。

鉄穴社長　そうなんです。そこで、なんとかトラブルのない、確実な脱毛ができないか?と試行錯誤する中で、ある単純なことに気づきました。それは毛周期と発毛のメカニズムを解析する過程において、毛を作り出すタイミングをとらえ「毛を作りにくくする」ことができないか?ということです。そしてそれが実現できれば必ず減毛できると確信しました。その方法による減毛の効果を確信した瞬間から、光エネルギーが持つ波長やパルス幅などの実験を繰り返し、特殊な光線を特定し、完成したのがハイパースキン法です。この特殊な光線を照射することにより、皮脂腺部の発毛因子の細胞分裂が減退、毛母細胞を形成後のケラチン蛋白質などにも効果的に作用し、結果的に毛が再生しにくい、高度な減毛システムが誕生したんです。

吉田先生　私は医師として「脱毛できるかどうか」という結果の前に、火傷や色素沈着など肌への負担、トラブルなどが無いかに注目していました。導入するにあたり、安心して使用できる脱毛機であることが絶対条件です。さらに、子供や痛みに弱い方に対して、痛みの心配が無いのであれば、なおさら嬉しいことです。

鉄穴社長　痛みが我慢できず脱毛を途中で断念する方もいると思います。顔やデリケートゾーンなどは特に。一般的に「毛乳頭」を破壊するには高温の熱が必要で、その温度はおよそ 62～63度という説があります。そして、毛乳頭は肌深部にあるため、そこへ熱を到達させるには、70～80度近くの熱を一気に発さないと、毛乳頭は破壊できないともいわれています。先ほども言いましたがハイパースキン法は高熱での処理ではなく特殊な光線でのアプローチなので痛みの心配もなく、さらにコラーゲンを活性化させ、トリートメント効果も期待できます。また剃刀や毛抜きなどの自己処理で荒れてしまった肌もきれいにしていきます。ちなみにハイパースキン法の温度は「人肌」と同じ36～38℃ほどです。おかげさまで現在では、エステサロン、美容室、ネイルサロンなどの美容関係施設や医療機関の口コミにより広がり、1000台以上の「ハイパースキンカレン」が全国で使用されています。

吉田先生が開発された「植物系熟成酵素M」。もともとはクリニックの患者さんに、薬に頼らずに健康な身体を作ってほしいと渡していたもの。現在はクリニック以外でも購入できるようになり、早くも口コミで全国に広がっている。鉄穴社長も1年間愛飲しており、風邪や病気など一切ないとのこと。 こうそM

――医師から見た脱毛の必要性とは

吉田先生　私の娘のように、最初はコンプレックスで脱毛をする方が多いと思うのですが、実は脱毛には医学的なメリットもあるのです。例えば、ケガは「細菌」が感染することにより治りにくくなります。その細菌はケガをした部分の毛や皮膚に付着して増殖します。つまり毛がある事により傷の治りが悪く、化膿する原因となります。だからと言って、カミソリなどを使った自己処理だと皮膚にキズをつけて出血させたり、それを繰り返すことで色素沈着を起こしたりします。また同じカミソリを他の人と使い回すことにより、肝炎ウイルスなどの感染症を起こす可能性があります。脱毛しておくことで、ケガの回復をスムーズにしたり、血液を介してうつるウイルス感染症の予防もできるのです。ワキやデリケートゾーンは特に湿気が籠りやすく、菌も繁殖しやすい環境です。衛生面から見ても脱毛はしておくべきでしょう。

鉄穴社長　コンプレックスを解消するために脱毛をするお客様が多いのですが、これからは怪我や感染症の観点においても、脱毛の必要性が一般的に広がっていくかもしれません。その人のライフスタイルや職業によっても脱毛の必要性は確かに出てきそうですね。

吉田先生　そうですね。最近福岡でも人気があるスポーツタイプの自転車に乗っている方や、ラグビーやサッカーなどのグランドでスポーツをされている方は四肢の脱毛を行っておいた方が良いですね。転倒した際に毛がない方が細菌感染を起こしにくく、キズの治りがよいです。カミソリで処理されている方もおられるでしょうが、カミソリで皮膚にキズがついていると転倒しなくても、土や埃の中に含まれる細菌がキズや毛穴から入り込み、感染を起こし赤く腫れ上がらせてしまいます。またムダ毛の自己処理を繰り返すことにより肌を傷め、ウロコのように皮膚が硬くなったり、毛穴が大きく広がっていると感染を起こすリスクが高まってしまいます。外で運動をされる方以外にも脱毛をおすすめしたいのは、料理をされる方です。実は調理中に手や腕などの毛は抜け落ちています。毛や皮膚には黄色ブドウ球菌という食中毒を起こす細菌が付いていることがあり、これが食べ物の中に入ると大変なことになります。このように脱毛は女性だけでなく、年齢、性別、職業に関わらずお勧めしたいですね。

鉄穴社長　確かにそうですね。脱毛は女性がするものということではなく、医療、職業、エチケットという面においても、男女関係なく脱毛のメリットを感じてほしいですね。

――吉田先生がされている「美容内科」とは

吉田先生　「内科」は病気になった時に行くというイメージが一般的ですが、当クリニックでは、血液クレンジング療法、高濃度ビタミンC点滴、プラセンタ注射、肌細胞再生医療、酵素ダイエット療法、がん免疫療法などのアンチエイジングや予防医学的な治療を多く行っています。エステサロンや美容外科とは違うアプローチで、メスを使わずに体内から全身を若返らせ美しく健康でいられるお手伝いをさせてもらっています。これが私の掲げる「美容内科」という概念です。

鉄穴社長　先生が以前からされている「在宅医療」「在宅ホスピス」において、病気をする前に、病気をしない体を作る「予防医学」が大切だと聞きました。大きな病気をさせない、病気を再発させない、体が元気であれば笑顔が増えて、笑顔になれば病気にならない。その考え方は、私の脱毛に対する考えにすごく似ていました。誰もがいつも笑顔で健康で美しくいれたら幸せですね。

吉田先生　医療と脱毛、全く違う領域のようで、実は「予防医学」「早期治療」という点において大きな共通点がありました。鉄穴社長の考えに賛同するところが多かったことも、痛みのない夢の脱毛機「ハイパースキンカレン」をクリニックに導入した大きな理由でもあります。これからの脱毛は間違いなく新しい時代へと突入します。ケガや病気の予防に子供や男性の方々が脱毛することは当たり前の時代になると思います。そのときに信頼できる脱毛機に出会えるかどうかで、その予防効果にも違いが出ることを忘れないでいて欲しいですね。

「KAREN」イメージモデル
恋文（れもん）ちゃん
鉄穴社長の長女。現在高校二年生、現在でもムダ毛0（ゼロ）。

MOMOCHIHAMA CLINIC
ももち浜クリニック
TNC 放送会館在宅診療所
【取材協力】ももち浜クリニック
☎092-846-0022
福岡県福岡市早良区百道浜2丁目3-2
TNC放送会館2F
診療時間 月火木金 9:00～17:30（お昼休みなし）
水 9:00～13:00　14:00～17:30
休診日 土・日・祝日

ももち浜クリニック

KAREN
Hyper Skin
【天神本店】
☎092-738-0019
【博多店】☎092-434-5255
【大橋店】☎092-557-8860
【福岡東店】☎092-674-4777
【木の葉モール橋本店】☎092-407-2755
【伊都店】☎092-805-5551
【イオンモール福津店】☎0940-72-1972
クレジット・ローン・カードOK!★フェイシャルやボディケアメニューもご覧頂けます。メールでの質問も受け付けております。★全店舗完全個室対応
店舗情報やお得なメニューは公式HPをご覧下さい
カレン　脱毛